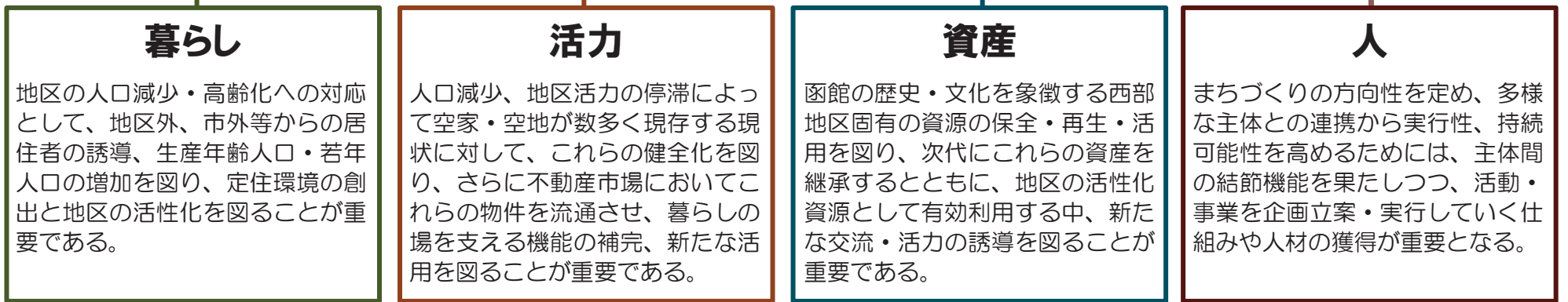


# ◆西部地区再整備事業基本方針案の骨子

地区の価値・魅力と課題の枠組み

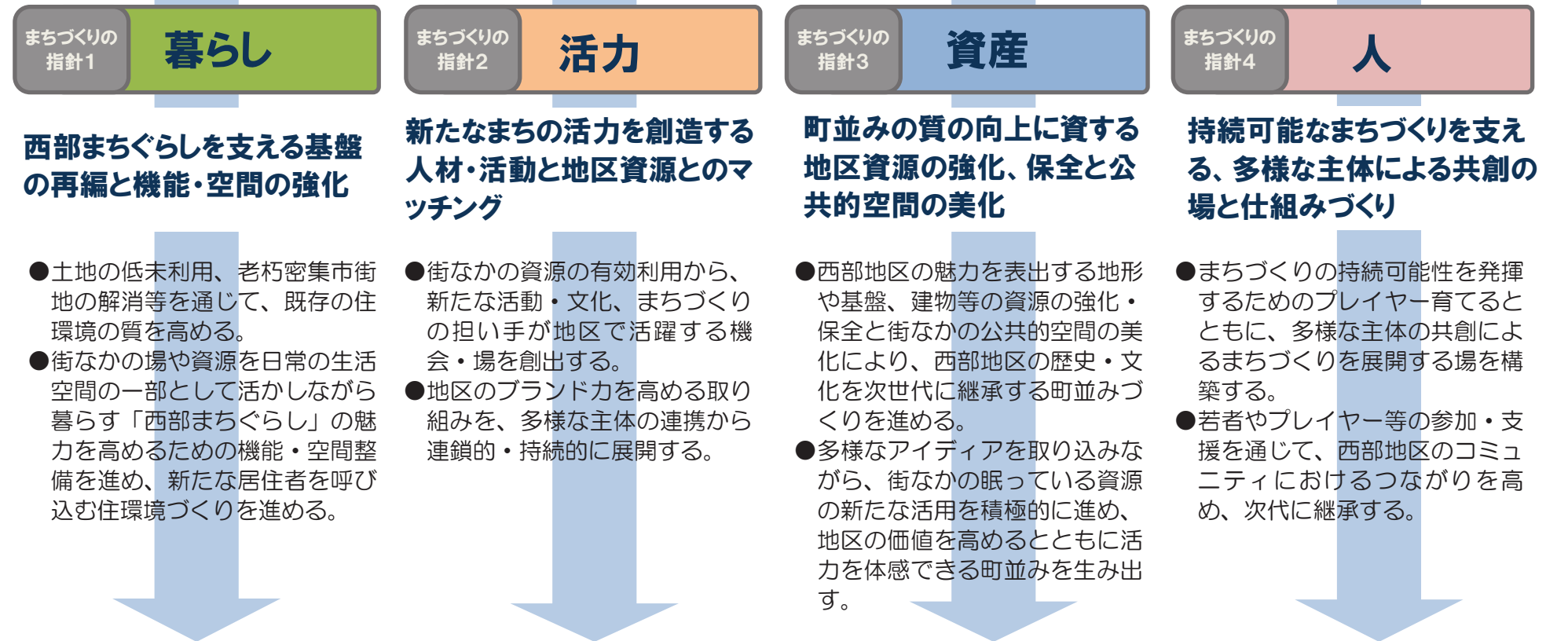
|          | 人口  | 生活利便性   | 地区環境  | 地区活力                               | 地区基盤                         | 地区個性  | 観光交流  | コミュニティ  |
|----------|---|---|---|------------------------------------|------------------------------|---|---|---|
| 地区の価値・魅力 | —   | ○住み続ける中で生まれる「暮らしやすさ」<br>○路面電車、バス等の公共交通機関による移動利便性<br>○移動販売等、きめ細やかなサービスによる生活利便性 | ○資源との共生から生まれる住環境への誇り<br>○閑静な住宅街<br>○歴史的な建物の現存     | ○資源を活かした個店の魅力                      | ○市街地形成の歴史を今に伝える基盤（坂道・石垣等）の現存 | ○函館発祥の地としての歴史<br>○港湾を有する開港都市のポータルであり、様々な異国文化が共存する街<br>○函館山麓と海辺に立地する地区とした、水と緑の豊かな自然環境<br>○上下和洋折衷様式の建築物の現存による固有の町並み<br>○函館山からの眺望・夜景 | ○地区資源による知名度の高さと活発な観光交流<br>○散策に適したコンパクトさ<br>○地区の知名度を活かした様々なイベントの展開 | ○古くからの地縁に支えられた「暮らしやすさ」<br>○町会活動等、地区自治の推進                      |
| 地区の課題    | ●5年間で約10%の人口減少<br>●老年人口比率の増加<br>●生産年齢人口、年少人口の減少 | ●生活関連サービス（日常の最寄り品、医療・福祉サービス等）の不足・不安<br>●坂道の移動利便性への不安                          | ●老朽建物の集積<br>●空家・空地の増加<br>●未利用物件の老朽化・倒壊等による地区環境の悪化 | ●従業者数、事業所数の減少（働く場の減少）<br>●不動産情報の不足 | ●細街路の集積街路が多数現存し、未接道等の課題が顕在化  | —   | ●駐車場の不足等によるアクセシビリティの低さ  | ●地区自治の中心を担ってきた人材の高齢化<br>●担い手不足による運営体制の固定化<br>●まちづくりに参加する若者の不足 |

まちづくりの視点

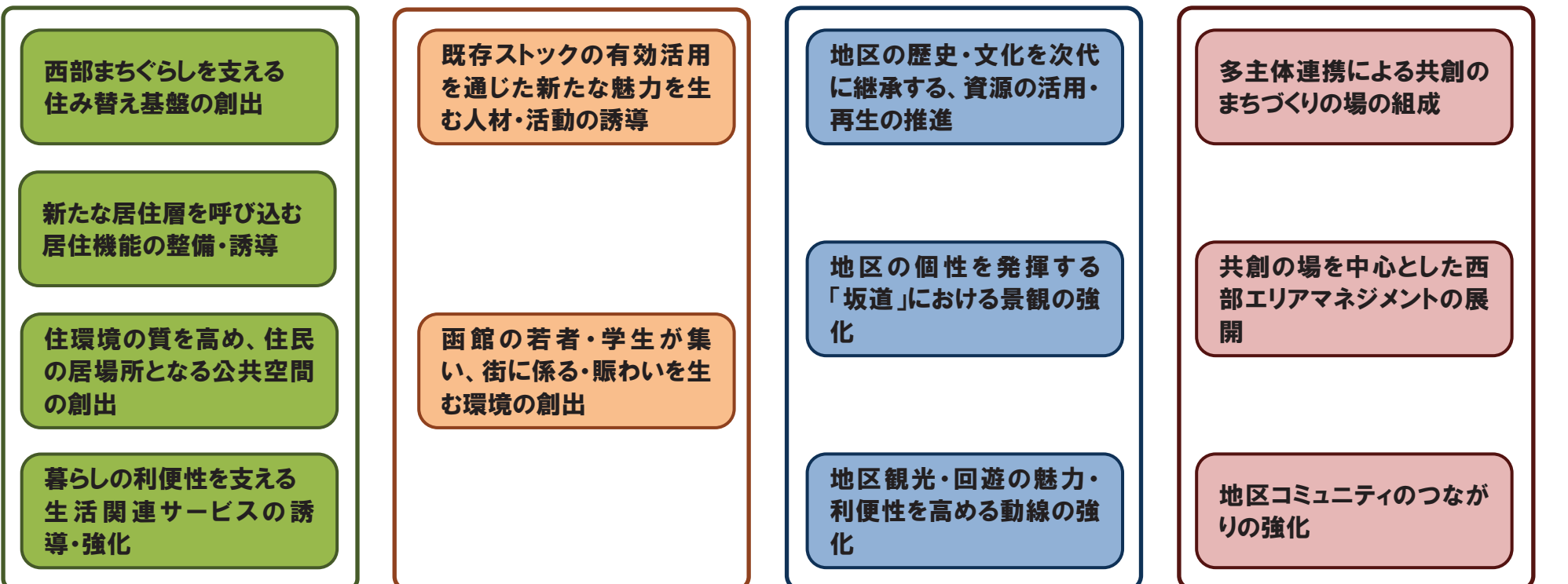


基本方針とまちづくりの指針

## 【西部地区再整備事業の基本方針】 ○○○○○



取り組みのアイデア・イメージ（詳細裏面）



# 取り組みのアイデア・イメージ (◎から選んでください)

## 暮らし

### 西部まちぐらしを支える住み替え基盤の創出

- ◎多様な居住層を受け入れる
  - ◎住みたいと思える素敵な住宅をつくる
  - ◎函館スタイルの住宅モデルを創る
- 【暮らしの場・滞在環境】
- ➡◎再開発をする ◎空家を活用したホテルをつくる
  - ◎体験型観光を推進する ◎サテライト型宿泊施設をつくる

### 新たな居住層を呼び込む居住機能の整備・誘導

- ◎生活特区にする（授業料や医療費の無償化）
  - ◎子どもや孫も住み続けられるまちをつくる
  - ◎Uターン居住者へ助成を行う
- 【若い世代が住みたくなる工夫】
- ➡◎学生寮・下宿をつくる ◎学生の家賃や授業料に補助等を行う

### 住環境の質を高め、住民の居場所となる公共空間の創出

- ◎坂道のお休み処を創る
- ◎安全・安心な歩行環境をつくる
- ◎空地を公園にする
- ◎地形を活かした休める場をつくる
- ◎子どもの遊び場をつくる



### 暮らしの利便性を支える生活関連サービスの誘導・強化

- 【日常の足となる公共交通】
- ➡◎循環バスを運行する
  - ◎ワンコインバスを運行する
  - ◎コミュニティバスを運行する
  - ◎シャトルマイクロバスを運行する
- ◎店舗の誘致する
  - ◎移動販売を充実させる
  - ◎日常生活サービスの強化
- 【住み続けられる工夫】
- ➡◎在宅医療の充実させる
  - ◎医療費の補助を行う
- 【生活を支え合う仕組み】
- ➡◎宅配サービスを充実させる
  - ◎子ども食堂をつくる ◎災害時に助け合う



## 活力

### 既存ストックの有効活用を通じた新たな魅力を生む人材・活動の誘導

- ◎企業誘致等で仕事・働く場を創る
  - ◎住まいと市場づくり
- 【空家の再生・活用】
- ➡◎空家を活用したビジネスを集積する
  - ◎空家をコワーキングオフィスにする
  - ◎空家をチャレンジショップにする
  - ◎空家を民泊にする
  - ◎空家をカフェにする ◎空家を料理教室にする
- 【芸術×まちづくり】
- ➡◎芸術系の若者とコラボレーションする
  - ◎芸術家の活動の場・住まいを提供する
  - ◎アート関係の複合施設を創る
- 【埋もれている価値・魅力の発掘】
- ➡◎外国人観光客など来街者目線の評価を把握する
  - ◎海洋資源・海岸などを活用する
- 【価値・魅力の発信】
- ➡◎SNSで価値・魅力を発信する
  - ◎小説等の舞台とする
  - ◎町会誌を作る ◎有名人の協力でPRを行う
  - ◎ゆるキャラを作る
- 【まちの魅力を知る・体験する新たな企画の立案】
- ➡◎坂の横道を利用する ◎雪かき体験付き温泉ツアーを企画する
  - ◎マリンスポーツを企画する
  - ◎坂（山）でスポーツ(そり滑り、スキー、自転車)を企画する
  - ◎まち歩きを企画する
  - ◎グリーンツーリズムを企画する
  - ◎オプションツアーを企画する
  - ◎マルシェを企画する
  - ◎市電通りを歩行者天国にする



### 函館の若者・学生が集い、街に係る・賑わいを生む環境の創出

- ◎学校・学生の居場所を作る
- ◎若者が集まる場をまちなかに作る
- ◎学生が町会をサポートする
- ◎空家を大学のサテライト教室や創造活動の拠点にする



## 資産

### 地区の歴史・文化を次代に継承する、資源の活用・再生の推進

- ◎和洋折衷様式の建築物等の維持保存する
  - ◎植樹・植栽で町並みをつくる
  - ◎親水空間をつくる
- 【旧市街地としての価値の共有と発信】
- ➡◎世界遺産への登録を目指す
  - ◎旧市街地サミットの開催
- 【土地情報・地権者意向の集積】
- ➡◎土地のデータを整理する
  - ◎土地の売り手の意向を把握する
  - ◎土地の需要者とのマッチングを行う
  - ◎空家活用に関する塾を開く



### 地区の個性を発揮する「坂道」における景観の強化

- ◎町並みの維持・管理・再編を行う
- 【坂の活用】
- ➡◎坂道ベンチを設置する ◎坂をマイナスにとらえない
  - ◎坂道を健康づくりの場とする ◎あそび空間にする
  - ◎冬でも安心して歩けるまちに整備する

### 地区観光・回遊の魅力・利便性を高める動線の強化

- ◎坂道をつなぐ横道を魅力的にする
- ◎観光客用駐車場・駐車施設を提供する

## 人

### 多主体連携による共創のまちづくりの場の組成

- ◎まちづくりを考える機会や場を増やす
- ◎新しいプレイヤーと一緒にまちづくりを考える場を作る
- ◎大学や高齢者と連携し、まちづくりの学びと実践の場とする



### 共創の場を中心とした西部エリアマネジメントの展開

- ◎空家の改修・運営・販売をする会社
  - ◎空家活用に関する情報の一元化
- 【新しい観光の企画・提案】
- ➡◎地区特性を活かしたツーリズムを企画する
  - ◎観光イベントを企画する ◎雪の活用を企画する
  - ◎まちづくりアイデアコンペを開催する

### 地区コミュニティのつながりの強化

- ◎学校と地域の共同活動を実施する
  - ◎町会に参加したくなる仕組みをつくる
  - ◎コミュニティ・活気を生み出す場をつくる
  - ◎まちのニュース・冊子をつくる
- 【町会館を新しい集いの場】
- ➡◎町会館をコワーキングスペースにする
  - ◎町会館をミニ図書館にする
  - ◎町会館を中高生の自習室にする

